

(8)

既約行列係, Zerfallung = 就了 (8)

小川潤次郎

群ノ表現論ニ於テアル體ニ於テ既約
ナーツノ表現ヲ基礎體ヲ適宜ニ拡大シテ
絶対既約ヲ表現ニ分解スルト云フ問題ガ
アル。本論文ニ於テハモット一般ニアル
體ニ於テ既約ナ行列係ヲソノ絶対既約成
分ニ分解サセルト云フ問題ヲ構成的ナ方
法ヲ取扱フアル。

§1 G ハアル標数 0 ノ體 P ノ m 次ノ行列
系トスル。 G ノ各行列 S ト可換ナ P ノ n
次ノ行列 A ヲ G ノ交換子ト名ツアル。
 G ノ交換子ノ全体ガ P ノ上ノ行列環ヲ作
ルコトハ明カデアアルガ次ノ補助定理ガ成
立ツ。(Hermann Weyl, The Classical Groups,
P. 81)

補助定理. 行列系 G ガ P ニ既約トラバ
 G ノ交換子環 Ω ハ P ノ上ノ Divisionsalgebra
デアアル。交換子 A ヲ P ノ上ノ Divisionsalgebra
子ノ元素 α ニ於ケル表現行列ト見ル。
次ニ α ガ基礎體 P ニ満足スル既約方程式
(最高次係数 c)ヲ $m(u) = 0$ トスレバ $m(u)$ ハ
行列 A ノ最小多項式トナル。従ツテ行研
論ノ良ク知ラレタ定理カテ。

$$f(u) = (m(u))^l$$

(9)

トナル。但シ行列 \$A\$、特有方程式
 テアル。體 \$P\$、完全體テアルカラ多項
 式 \$m(u)\$ ハ \$P\$、ニ第一種テ見テ異ル根
 ヲ有スル。今 \$\theta_1, \dots, \theta_m\$ ヲ \$m(u)\$、根トス
 レバ

$$m(u) = (u - \theta_1) \cdots (u - \theta_m)$$

ト分解出来ル。

體 \$P_\alpha = P(\theta_\alpha)\$ テハ多項式 \$m(u)\$ ハ

$$m(u) = (u - \theta_\alpha) m^*(u)$$

ナル形ニ、分解サレル。従ツテ行列 \$A\$ ハ體
 \$P_\alpha\$ テハ

$$\begin{pmatrix} \theta_\alpha & & 0 \\ & \ddots & \\ 0 & & A^* \end{pmatrix}$$

ノ形ニ、変換サレル。但シ \$A^*\$ ハ \$P_\alpha\$、\$(m-1)\$
 次、行列テアル。従ツテ \$\mathbb{C}\$、凡テ、行列
 \$S\$ ハアル一定、行列 \$T\$ = 依ツテ、

$$\begin{pmatrix} S_\alpha & 0 \\ 0 & S^* \end{pmatrix}$$

ノ形ニ、変換サレル。行列 \$S_\alpha\$、集合ヲ \$\mathbb{C}\$、ト
 スル。置換 \$\theta_\alpha \to \theta_\beta\$ = 依ツテ \$S_\alpha\$ カラ生ズル
 行列ヲ \$S_\beta\$ トシ \$S_\beta\$、集合ヲ \$\mathbb{C}\$、ト書フ。

然ラバ Schur、定理ニ、依ツテ

$$G \sim \begin{pmatrix} G_1 & & \\ & \ddots & \\ & & G_m \end{pmatrix}$$

(10)

デアルカラ、 G ガ既約ナラ G_{α} ハ P_{α} デ既約デ
アル。次ニ G ノ交換子 *Divisionalgebra*
 \mathcal{O} ノ内デ A ト交換ナ行列 B ハ T ニ依ッテ

$$\begin{pmatrix} B_{\alpha} & 0 \\ 0 & B^* \end{pmatrix}$$

ノ形ニ变换サレテ B_{α} ハ G_{α} ノ交換子環デア
ル。従ッテ *Divisionalgebra* デアル。

\mathcal{O}_{α} ノ中ニテノ最小整式ガ一次ナラカ
ル行列ガアレバソレヲ用ヒテ上ト同様ニ
シテ G_{α} ヲ分解スル。若シ \mathcal{O}_{α} ノ行列ガ
バテ一次ノ最小整式ヲ有スル即チソレハ
 $\mathcal{O} \in (\mathcal{O} \text{ハ } P_{\alpha} \text{ノ元素})$ ノ形デアルトキニハ
 \mathcal{O} ノ如キ G_{α} ノ分解ハ出来ヌ。即チ G_{α} ハ
対既約デアル。

以上ノ操作ヲ抽象的ニ考ヘレバ G ノ交
換子 *divisionalgebra* \mathcal{O} ノ一ツノ元ニテ基
礎体 $P =$ 添加シテ $P(a)$ ノ上ニ \mathcal{O} ヲ考ヘテ
次ニ \mathcal{O} ト可換ナ \mathcal{O} ノ元素 b ヲ $P(a) =$ 添加
シテ $P(a, b)$ ノ上ニ \mathcal{O} ヲ考ヘテ $\mathcal{O} =$ 於テ
 $P(a, b)$ ノ元素ト可換ナ元素ノ既ニ $P(a, b)$
ニ含マレルニ至ル迄コレヲ続ケル。即チ
 \mathcal{O} ノ最大可換部分体ニ於テ G ハソノ即チ
既約成分ニ到達スル譯デアル。而シテ此
ノ最大可換部分体ハ P ノ上ニ有限次ノ
大デアル。

§2. 體 $P =$ 於ケル既約多項式

(12)

集合ヲ G カラ *ableiten* サレタ行列系ト云
 $\subset G_P(0_2) \rightarrow P$ デ表ハス。然ルトキハ簡單ナ
 計算ニ依ツテ

$$G_P(0_2) \rightarrow P \sim \left\{ V \begin{pmatrix} S_1 & & \\ & \dots & \\ & & S_m \end{pmatrix} V^{-1} \right\}$$

デアル。

従ツテ之ト前節、Schur、定理ト合セ
 テ次、定理ヲ得ル。

定理、 $P =$ 於テ アタヘラレタ既約行列係 G
 $=$ 対シテハ P 、有限次拡大 $K =$ 於テル絶
 对既約行列系 G^* ガアツテ

$$G_{K \rightarrow P}^* \sim G$$

トナル。

而シテ K トシテハ G 、交換子 *Divisionalgebra*
 \mathcal{D} 、最大可換部分体ヲ取レバヨイ。